

培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/>

令和元年11月5日(火)

第7号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

大人のプライド

校長 山下博史

10月はラグビーワールドカップで日本が大躍進し初のベスト8、そして天皇陛下の即位礼正殿の儀が行われ、日本中が歓喜に沸きあがった反面、台風19号の大水害で東日本や長野県が大きな被害を被り心を痛めました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

さて、8月末の新聞に、「京都 4年連続 大学進学率日本1」と掲載されました。京都府は65%を超え、高校卒業者の半分以上が大学に進学するということでした。



京都(京阪神)には多くの大学があり、その学生の姿を見ている中高生が大学にあこがれるのがその一因だと思います。本市にも同志社大学や同志社女子大学があり、雰囲気はよくわかります。

今の高校2年生から大学入試制度が大きく変わります。その内容は単なる暗記を問う問題から様々な視点から物事を多面的多角的に判断し、自分の考えを述べる問題が多くなります。その背景は「明確な答えがない世の中」に主体的に対応できる人材の育成が求められているからです。そうした人材の育成なくして日本の繁栄は維持できない危機感もあり、否応なく学校教育の変革が求められています。



しかしこうした資質能力の育成は学校教育だけで行うのではなく、世の中全体で取り組むべき重要な課題であると思います。それは学校や家庭や地域で大人たちが子ども達へ良い模範を示すことが極めて重要です。その姿こそが子どもが物事を多面的多角的に見る視点・判断の基盤を作ると考えるからです。残念ながら世の中には自分の都合だけを優先して、相手の迷惑を考えず行動する人がいます。また偏った知識や情報だけで物事を一面的に判断し、自分の考えだけが正しいと一方的にネットやマスメディアで批判する人もいます。世の中全体の二者択一的な風潮(例えば善悪・損得・好き嫌い・勝組負組等)や先入観も多様な見方考え方を阻害しています。

自分と異なる意見や考え方に耳を傾け、他者と調和や合意を探る姿勢が求められる時代です。スマホが普及し瞬時に知識や情報が得られ、自分の考えをSNSで簡単に発信できる今は、価値観や考え方が一致する時代ではなくなりました。だからこそ今まで以上に柔軟な考え方や的確な行動を大人が手本となって示さな

ければならなくなりました。大量の情報や価値観や意見の中で、「対立から調和・合意」へのプロセスを大人

一人一人の言動で教える必要があります。「人に迷惑をかけず人のために生きること」

「家庭に笑顔が絶えないこと」「人を変えるのではなく自分が変わること」を
まずは率先垂範したいです。

未来は現在の積み重ねです。子どもたちの幸せな未来を願う時、私たち大人が
学校・家庭・地域という枠を超えて、人の道や調和・合意の価値を教えるときです。

その輪・和の広がりこそが、これからの学校教育が目指す新たな学びや人材育成を一層深く豊かにしてくれ
るものと信じています。



綴喜新人大会 結果！！

9月29日(日)に陸上新人大会、10月5日(土)・6日(日)に各種目の新人大会が開催されました。

結果は以下の通りです。これまでの練習を振り返り、春・夏にむけてまた頑張りましょう。

団体<優勝>ハンドボール部男子 バドミントン部 バasketボール部女子
<準優勝> ソフトテニス部男子

個人	バドミントン部	シングルス	第1位	西川未涼
			第3位	澤野遥香
		ダブルス	第1位	森岡弥生 長澤愛華ペア
ソフトテニス部男子	第2位	岡田瑤平 奥田遠馬ペア		
	第3位	山本雁太 野村俊斗ペア		





令和元年度山城地方中学校体育大会

駅伝競走の部

